

❖ 科目名 Course Title			
一般教育演習 (フレッシュマンセミナー) クイズで学ぶ化学と科学			
❖ 担当教員 Instructor			
大谷 文章			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	1~
❖ 履修可能人数 Capacity	制限なし (遠隔) 制限なし (対面)	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	演習		

❖ キーワード Key Words	
クイズ, 科学的視点, 化学的方法	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
❖ 授業概要 Course Description	
<p>各回数題出題されるクイズに答えることによって「化学と科学とはなにか」を学びます。受講者は、「化学と科学を理解するのに役に立つクイズ」を作成・発表して受講者どうしのディスカッションを行ってまいります。なお、各講義の後にメール送信で提出もらう「感想と意見/質問」は公開とし、次回に講評と討論を行います。</p>	
❖ 到達目標 Course Goals	
科学的な視点と方法の基礎を身につけることを目標とします。	
❖ 授業計画 Course Schedule	
<p>各回の講義のテーマ (題材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料電池： 報道と科学論文, 解説：科学表現とは何か ・ 電子レンジ： インターネット上の情報と科学 ・ ダイオキシン： 報道と科学 ・ 部屋のなかの物質： 物質とはなにか/科学の視点 ・ 物質の同定： 科学的な方法とはなにか ・ エベレスト登頂： 科学的な方法とはなにか ・ 科学の三冠王： 科学者はなにをめざすのか ・ 電車の混雑： 科学におけるオリジナリティ ・ ダイエットチラシ： データの捏造と粉飾：科学倫理 ・ キラリティー： 化学におけるかたちと対称性 ・ 光化学反応： 環境と物質とエネルギー ・ リサイクルとエコロジー： 環境と物質とエネルギー ・ ヨーロッパ地図： 科学における論理性と実験ノート 	
❖ 成績評価 Grading System	
<p>1) 各回のクイズの回答状況 (出席状況も含む) 2) 「化学と科学を理解するのに役に立つクイズ」の作成と発表 3) 討論への取り組み, 意見発表などの積極性 およその評価割合は, 1) 30%, 2) 50%, 3) 20%</p>	
❖ テキスト Textbooks	
❖ 参考書 Reading List	
❖ 準備学習 Homework	
<p>予習は各回の質問を考えること。復習は演習の内容をふりかえり, じぶんのものとする事です。また, さいごに提出するクイズを考える必要があります。</p>	

❖ オフィスアワーOffice Hour
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
❖ 質問・相談への対応方法Contact Information
❖ 履修上の注意Notes
❖ 備考Other Information
教科書は使用せず適宜資料を配付します。とくに化学の基礎知識を要求しません。毎年実施している授業アンケートで「シラバスは授業の目標, 内容, 評価方法を明快にしめしていた」が低評価を受けますが, これはこの講義の「真のテーマ」がシラバスに明記することによって無意味になるためで, しかたのないことだと思っています。

※「対象学年」と「単位数」は, 科目提供大学における数字であり, 受講大学に応じて異なるので, 所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は, 科目提供大学以外的人数であり, 遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は, 教室の収容人数によって履修できない場合があります。